

2018年度 貸借対照表

社会福祉法人亀岡福祉会 2019年3月31日現在

資産の部			負債の部		
	科目	金額		科目	金額
流動資産①		270,840,220	流動負債③		59,335,398
	現金預金	163,230,274		未払い金	16,447,666
	商品・製品	1,147,257		事業未払金	5,998,066
	原材料	758,790		未払い費用	6,105,429
	事業未収金	78,655,567		職員預り金	3,381,945
	未収金	9,436,795		前受金	0
	貯蔵品	0		前受収益	80,000
	立替金	1,175,546		サービス区分間借入金	14,608,958
	前払金	314,010		仮受金	12,713,334
	前払費用	809,312	固定負債④		10,440,641
	サービス区分間貸付金	14,608,958		設備資金借入金	10,000,000
	短期貸付金	0		長期運営資金借入金	0
	仮払金	703,711		拠点区分間借入金	0
固定資産②	③+④	637,651,746		サービス区分借入金	0
基本財産③		545,029,473		退職給付引当金	440,641
	建物	397,725,773			
	土地	146,303,700			
	基本財産特定預金	1,000,000			
その他固定資産④		92,622,273		負債の部合計③+④=⑤	69,776,039
	建物付属設備	10,601,764	純資産の部	⑥+⑦+⑧	575,080,297
	構築物	956,932	基本金⑥		219,920,338
	機械及び装置	8,883,609	国庫補助金等特別積立金⑦		300,542,485
	器具及び備品	3,508,048	その他の積立金⑧		54,617,474
	車輛運搬具	8,253,836		人件費積立金	7,014,000
	ソフトウェア	1		修繕費積立金	5,472,833
	権利	149,968		利用者工賃積立金	1,533,636
	人件費積立預金	7,014,000		施設整備等積立金	35,583,005
	修繕費特定預金	5,472,833		設備等整備積立金	5,014,000
	施設整備等特定預金	35,583,005			
	利用者工賃積立金	1,533,636			
	設備等整備特定預金	5,014,000	次期繰り越し活動収支差額⑨		
	退職給与引当資産	440,641		次期繰り越し活動収支差額	263,635,630
	長期前払い費用	4,750,000			
	差入保証金	460,000			
資産の部合計①+②		908,491,966	負債、純資産の部合計⑤+⑥+⑦+⑧+⑨		908,491,966

お知らせ

きょうされん賛助会入会・更新のお願い

2019年度が始まりました。5年前、「障害者権利条約」が批准されましたが、障害者福祉制度はまだ不十分な点も多く、障害のある人が安心して暮らすためには多くの課題があります。

私たちは「きょうされん」と共に、障害福祉制度が、障害のある人の願いに応える制度になるよう、国会への請願署名をはじめ様々な取り組みを行っています。このようなきょうされんの活動は、全国約34,000口(京都では約4,300口)の賛助会費で皆さまに支えられています。また賛助会費は、独自の資金で活動しているきょうされんを支える重要な役割を担っています。ぜひ賛助会員になっていただき、私たちに応援していただくよう、心からお願いいたします。

またすでに賛助会へ入会されているかたは、今年度も引き続き賛助会員の更新をお願いいたします。

<賛助会年会費> 個人1口：3,000円 団体1口：6,000円

賛助会員の方へは、「月間きょうされんTOMO」を毎月お届けします。

あわせて、京都支部機関誌「よいしょ」を年6回お届けします。

お問い合わせ先：社会福祉法人亀岡福祉会 デイセンターぽればれ(担当：後呂^{うしろ})

TEL：0771-21-2276 FAX：0771-22-7622

◆いつも「ひまわり」をご愛読いただき、ありがとうございます。

引っ越し等で住所が変わられた方は、お手数ですが下記までご連絡ください。

ご連絡先：社会福祉法人亀岡福祉会 第二かめおか作業所(担当：西尾)

TEL：0771-26-5434 FAX：0771-26-2173

時

新しい元号となり祝賀ムードも束の間、新聞の紙面には連日暗い記事が目立つ。相次ぐ高齢ドライバーによる事故、川崎殺傷事件、元次官による長男殺害、そして年金二千万円問題。私の子どもたちが、明るい未来を生きている姿を思い描くには、最近のニュースは残酷だ。東京オリンピック、大阪万博、京都スタジアムの話では、残念ながら火に油を注ぐようなものである。

「子どもたちの明るい未来のために」。先人たちから受け継がれてきたこのバトンは、今私たちの手の中にある。せめてこのバトンを少しでも軽くして、次の世代に渡したい。

(I)

ご寄付 5月/6月

5/26 時岡 健二様 花苗

6/17 木崎 博彦様 金一封

ご寄付ありがとうございました。